

## 屋久島生態系モニタリング

国割岳西斜面の植生の垂直分布  
標高200m地点

プロットは、等高線沿いに10×130m=0.13haである。

樹冠観測用タワーの建っているところ、この一体は研究フィールドとして、大学等の多くの研究機関が活用している場所である。

樹木の生長が良く深い照葉樹林となっていて、樹冠が厚く林床まで陽光が届かないため、林床の草本類は単純で陰性植物が占めている。

プロット内出現種

- 胸高直径1cm以上 ー 31種
- 林床木本 ー 17種
- 林床草本 ー 9種

○優占種：モクダチバナ、マテバシイ群落。モクダチバナやマテバシイが多く、海岸性の樹木も見られ、亜熱帯から暖帯移行帯的な複雑な林相をしている。

○標徴種：アコウ。アコウはおおむねこの付近の標高が分布の上限である。

○蕨苔類。ほとんど見られず、近くにゼニゴケ・ホソバシラガゴケなどが少数生育するだけである。

七月一六日屋久島自然休養林白谷地区保護管理協議会の総会が、当会の会長である上屋久町長を座長として、屋久島離島開発総合センター一階小会議室で開催されました。総会では、駐車場・県道の拡張に

### 屋久島自然休養林 白谷地区保護管理協議会総会

七月一六日屋久島自然休養林白谷地区保護管理協議会の総会が、当会の会長である上屋久町長を座長として、屋久島離島開発総合センター一階小会議室で開催されました。総会では、駐車場・県道の拡張に

自然休養林保護管理協議会統一については荒川地区保護管理協議会同様、九一〇月を目標に統一することで確認され、準備中です。この後引き続き、「大自然の会」の総会を開催し、平成一三年度決算、一四年度予算案等が承認されました。

愛子岳は頂上まで片道三時間半、えんえんと続く急な坂を登らなければならず、健脚者向けですが、頂上からは宮之浦地区や空港、また奥岳も一望できます。通行しやすくなった登山道を利用してみなさんも一度登ってみませんか？なお、愛子岳登山道は世界遺産地域、森林生態系保護林、国立公園特別保護地区に指定されていることもあり、ゴミ捨てはもちろんです、動植物や土石の採集はしないようにお願いします。

## ヤクタネゴヨウを 絶滅から救おう

七月三〇日、県道白谷雲水峡沿線に造成した、ヤクタネゴヨウ展示林の保育作業（下刈り）を実施しました。

この展示林は、林木育種センター九州育種場の農林省ジーンバンク事業の一環として一〇年ほど前から屋久島森林環境保全センターの協力を下、種子を採取育苗したものを、人工林に関する情報の収集をするため、昨年からの二年間に亘って植栽しました。

当日は、午前九時にヤクタネゴヨウ隊やボランティアで参加する親子など集合しましたが、あいにく朝から大雨が降っており作業に危険が伴うことからひとまず中止しました。

### 花之江河の保全対策

高層湿原の保全対策

◆高層湿原の乾燥化防止のため、日本最南の高層湿原の保全対策。現在、日本最南の高層湿原

「花之江河、小花之江河」では、登山道の浸食による土砂流入が原因で湿原の乾燥化が進み植生が変化する等の悪影響を受けています。

当保全センターでは、平成一三年度から実施している屋久島森林生態系モニタリング調査の結果を踏まえ、湿原復元のための土砂流入防止工事などの保全対策を実施しています。

昨年は、「小花之江河」において土砂流入を防止するため、丸太柵工、横断排水工、階段歩道工などの工事を行いました。

今年度は、「花之江河」における湯泊歩道の浸食に伴う土砂流入防止対策を講じることとしており、土砂堆積箇所の除去の調査や、土砂流

## 屋久島の植物



ヤクマヒロハノテンシヨウ さといも科

屋久島の固有変種。高地の、やや明るい林床の腐葉土の上に生育。高さ三〇cm前後、葉は七枚ほどの小葉に分かれている。小葉の幅は約五cm、長さ一〇cmほどで、花茎は茎の途中から出る。花期は六月下旬から七月上旬で、中旬頃には果実が変わる。

入防止のための柵工等の施工位置等を調査しました。

### 愛子岳登山道 整備を実施しました

小瀬田地区が一二月一日（日）に計画している「愛子まつり」では、イベントの一つとして愛子岳登山ツアーが予定されています。

このツアーに向け、当地区

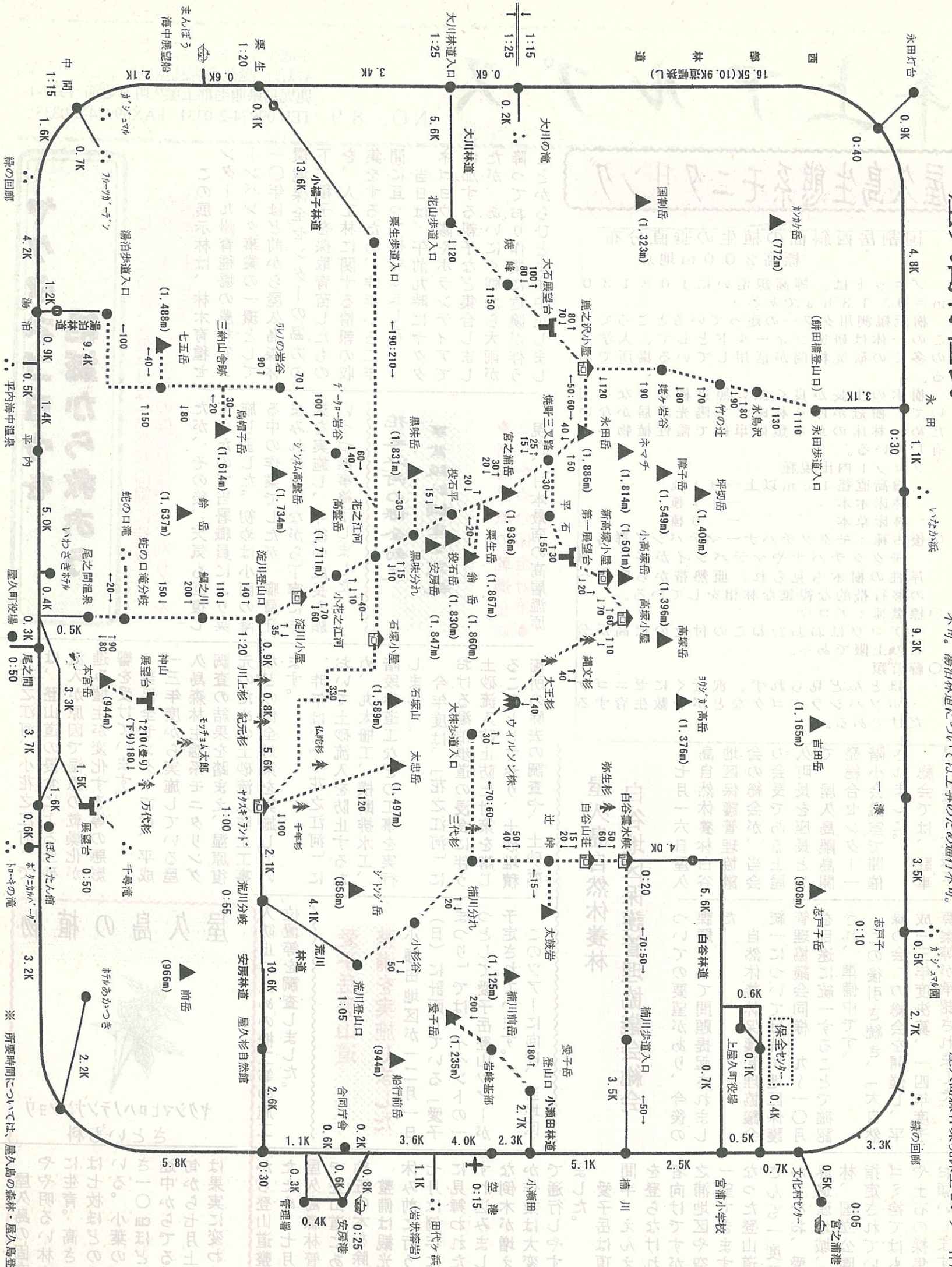
から登山道整備の要望があったため、七月三十一日（水）に屋久島森林管理署の職員八名で登山道にある倒木や危険木約五〇本を除去しました。

整備は観光客の増加する夏休み前に行う予定でしたが、七月は例年になく三度の台風に見舞われたため、三日にずれ込みました。台風で新たな倒木が増えており、暑いなか作業は大変でしたが、安全で通行しやすい登山道になりました。

# 屋久島行程表

※ 小幡子林道については途中にゲート有り一般車両通行不可。湯泊林道については工事のため通行不可。

屋久島森林環境保全センター作成



主要箇所登り片道時間・往復時間

箇所	行き	往復
白谷雲水峡	1:20	2:25
↓ 辻峠	2:00	3:55
↓ 楠川分れ	3:40	7:05
↓ 万のツ株	5:00	9:45
↓ 縄文杉	5:10	10:05
↓ 高塚小屋	8:05	15:20
↓ 宮之浦岳	0:50	1:40
↓ 小杉谷	1:10	2:20
↓ 楠川分れ	2:50	5:30
↓ 万のツ株	4:10	8:10
↓ 縄文杉	4:20	8:30
↓ 高塚小屋	0:35	1:10
↓ 滝川登山口	1:55	3:40
↓ 滝川小屋	2:25	4:35
↓ 黒味岳	2:40	5:05
↓ 投石平	3:15	6:05
↓ 宮之浦岳	8:00	14:40
↓ 鹿之沢小屋	8:55	16:50
↓ 永田岳	0:15	3:20
↓ 愛子岳	3:20	6:20
↓ 宮之浦岳	1:1K (岩状溶岩)	1:1K (岩状溶岩)
↓ 愛子岳登山口	3:20	6:20
↓ ヤクスギランド	行き	往復
↓ 太忠岳	2:00	3:40

山小屋	収容人員
高塚小屋	20名
新高塚小屋	60名
白谷山荘	20名
滝川小屋	60名
石塚小屋	20名
鹿之沢小屋	20名
計	200名

凡	例
自動車道	——
歩道	.....
距離	5.7K
所要時間	1:50 50→
保全センターからの時間	0:45
林道起点	○

※ 所要時間については、屋久島の森林・屋久島登山コースマップを参照。